



# JOCの取り組み状況について

スポーツ審議会スポーツ基本計画部会における関係団体ヒアリング

公益財団法人日本オリンピック委員会

# JOC Vision 2064

## スポーツの価値を守り、創り、伝える

Cherish, create and convey the value of sport

### Vision に基づく活動指針

#### オリンピックが浸透している 社会の実現

オリンピックを誰もが当たり前のように理解し、スポーツを通して豊かに生きる喜びが浸透している社会をつくる。

#### 憧れられるアスリートの育成

高い競技力と人間力を活かし、充実した人生を歩む、憧れの存在となるアスリートを育てる。

#### スポーツで社会課題の 解決に貢献

さまざまなスポーツ団体と連携し、スポーツの力を結集し  
国際社会が抱えるあらゆる課題の解決に貢献する。



# 第2次JOC中期計画（2025-2028）

第2次JOC中期計画（2025-2028）基本目標

**アスリートとともに  
スポーツの力を  
社会の力へ**

©AFLO SPORT ©PHOTO KISHIMOTO

1

# 国際競技力向上



写真：代表撮影/ロイター/アフロ

|                |                                                                                                                                                                         |                                        |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|
| 大会期間           | 2024年7月26日～8月11日                                                                                                                                                        |                                        |
| 開催場所           | パリ／フランス 共和国                                                                                                                                                             |                                        |
| 参加NOC数         | 206NOC ※Refugee Olympic Team (IOC難民選手団) 及びIndividual Neutral Athletes (個人中立選手) が参加。                                                                                     |                                        |
| 実施競技／種目数       | 32競技／329種目 (前回33競技／339種目)                                                                                                                                               |                                        |
| TEAM JAPAN編成   | 【団長】尾縣 貢 【副団長】土肥 美智子、谷本 歩実、井上 康生                                                                                                                                        |                                        |
|                | 【旗手】江村 美咲(フェンシング)、半井 重幸(ブレイキン)                                                                                                                                          |                                        |
|                | 編成数                                                                                                                                                                     | 合計744名 男子選手:218名、女子選手:191名、監督・コーチ等335名 |
| 日本の参加競技／種目数    | 31競技／192種目                                                                                                                                                              |                                        |
| TEAM JAPAN編成方針 | TEAM JAPANは、「人間力なくして競技力向上なし」を根幹に据え、行動規範を遵守し、各国・地域との友好親善に寄与できる選手と監督・コーチ等をもって編成する。TEAM JAPANの選手は、当該競技団体から推薦され十分な活躍が期待できるものの中から選考し、TEAM JAPANとしての自覚と誇りを持ち、最高のパフォーマンスを発揮する。 |                                        |



写真：ロイター/アフロ



写真：松尾/アフロスポーツ



# TEAM JAPAN

## Paris 2024

**RISING TOGETHER®**

# 能登半島地震復興支援



# 環境保全・地域活性化への取り組み



# アスリートへの誹謗中傷対策関係

## これまでの動き

- ・ アスリートサポートを目的に、IOCがパリ2024オリンピック出場の各選手団にウェルフェアオフィサー用のADを設定（活用は各NOCが決定）
- ・ パリ2024オリンピック期間中のアスリートへの誹謗中傷に対し、2024年8月1日に「TEAM JAPANからのメッセージ」を発出
- ・ スポーツ庁のご理解のもと、2025年3月にJOC・JPC共同で誹謗中傷相談窓口を設置、ポスター制作。記者会見を実施

2024.08.01 お知らせ

## 第33回オリンピック競技大会（2024/パリ）TEAM JAPANからのメッセージの掲出について

本メッセージは、競技に臨むアスリートが置かれている状況をご理解いただき、SNSでの誹謗中傷からアスリートの心身の状態を守るとともに、より多くの方にスポーツの価値をご理解いただき、応援いただきたいという思いから掲出するものです。

### ■TEAM JAPANからのメッセージ

いつもTEAM JAPANを応援いただき、誠にありがとうございます。  
応援いただく皆さまへ改めてSNS等の投稿に関してお願いがあります。

アスリートは4年に一度開かれるオリンピックに向けて、自分自身のため、そして支えてくださる多くの方のため、人知れず努力を重ねてきました。

どのアスリートも、一瞬一瞬を無駄にせず、緊張の中で、自身が最高のパフォーマンスを発揮できるよう、調整して大会に臨んでいます。

中には、試合前にコンディションを見極めて厳しい選択をせざるを得ないこともあります。

どれだけ準備を重ねても、試合では予期せぬこともたくさんあります。

そのすべてを受け入れて、自分にできる最高のパフォーマンスを発揮すべく、アスリートはその場に立っています。



写真提供・共同通信社

## 第4期スポーツ基本計画に向けた期待

- 東京2020オリンピック以降の継続的な強化支援、サポート体制の継続
- 誹謗中傷対策への継続的な支援
- ウェルフェアオフィサー、セーフガーディングオフィサーの育成と体制づくりの支援
- スポーツの地域展開にも資するアスリートのキャリア形成支援
- スポーツ医・科学支援・調査の強化と健康増進、予防医療分野への展開
- 民間資金によるスポーツ支援拡大
- 審判や競技役員を含めたスポーツを支える方への支援の確保
- 持続的なスポーツ振興ならびに社会活性化のための国際競技大会開催支援と大会運営ノウハウ継承